

NIP-Series

お見通し<sup>®</sup>

# 磁界型センサーの特徴と原理

特許 日本・中国・韓国・米国

# お見通し<sup>®</sup>の特徴 I

## 1、簡単操作

●スタート ●ストップ<sup>○</sup>だけ

2、オペレーター泣かせの  
面倒な位相合わせ

不要！

3、今まで検知できなかった  
塩分・アルミ包材内の金属異物

検知します！

\*金属異物:Fe,SUS小片及びその合金(強磁性体)

# お見通し<sup>®</sup>の特徴Ⅱ

4、一発始動

ヒートラン不要

5、メニュー制約無し

塩分・高温・冷凍・蒸気 対応

6、形状制約無し

包装内 内容物及び形状に影響されず

# お見通し<sup>®</sup>の原理 I

お見通し<sup>®</sup>は、「磁界型金属検出機」です。  
「マグネットブースター」と「検出センサー」で構成

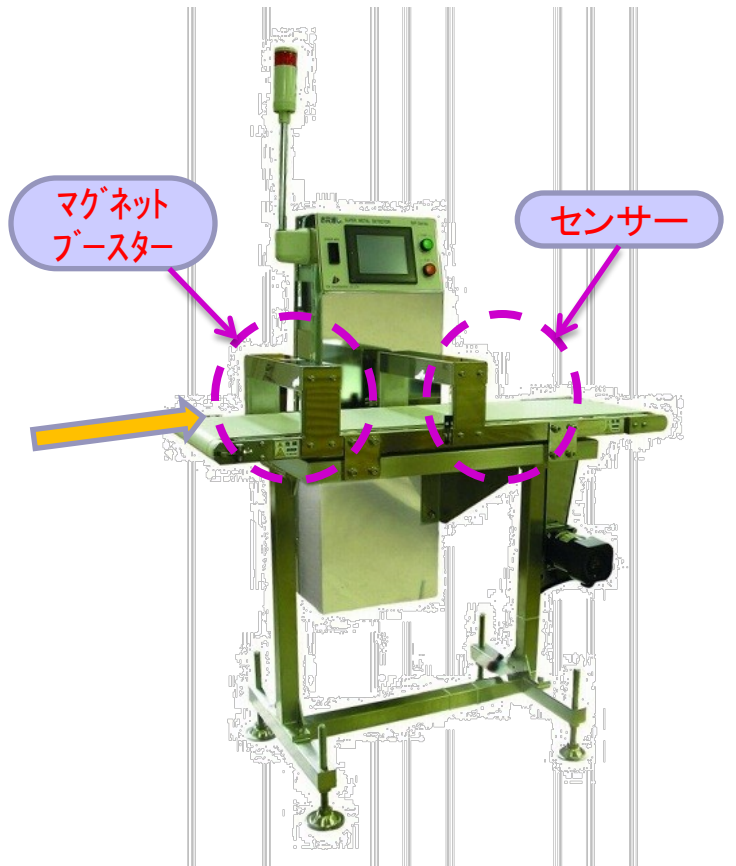
1、「マグネットブースター」で

異物の磁性を増幅

2、「検出センサー」が

磁界の乱れを検出

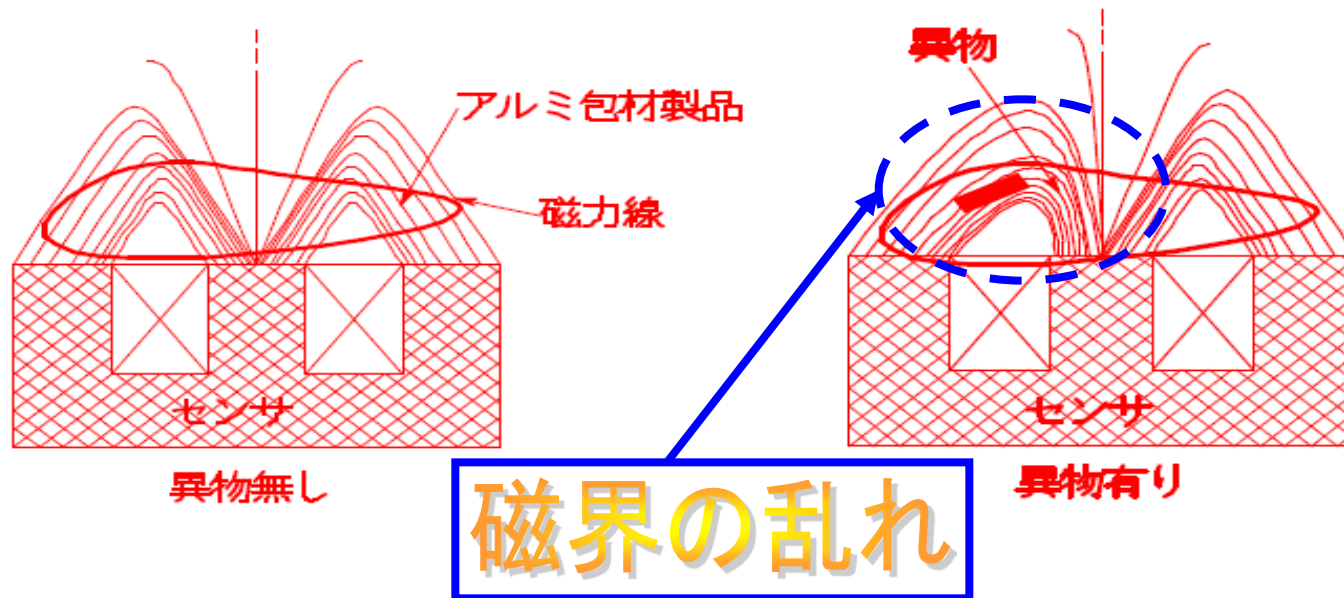
# お見通し<sup>®</sup>の原理Ⅱ



- センサーの構成  
上部、下部に、センサー及び  
マグネットブースターを配置  
し、素材中に混入した鉄片、  
ステンレス片を磁化、増幅し、  
センサーで効率よく小片を検  
出する。

# お見通し<sup>®</sup>の原理Ⅲ

- センサーの検出要領：
- 異物を混入した包装食材が、センサー内を通過すると、磁界に乱れを生じ、その乱れを検知する。



# お見通し<sup>®</sup> 比較表 I

項目	お見通し	他社金検
基本原理	低周波磁界型(10KHz以下)	高周波電磁波型(333KHz以上)
センサー	上下個別	ワンターンコイル式
検知可能金属	鉄・SUS・(強磁性体)	鉄・SUS・非鉄金属
条件設定	必要なし	商品毎に位相合わせが必要
感度切り替え	5段階	10段階以上
ヒートラン	必要なし	必要
搬送速度	可変	固定が多い

# お見通し<sup>®</sup> 比較表Ⅱ

包材等の影響	お見通し	他社金検
アルミ箔包装	○	×
アルミ蒸着品	○	×(感度を下げれば○)
塩分	○	△(感度が下がる)
塩分溶液	○	△(感度が下がる)
冷凍食品	○	×(表面が解けると×)
ワーク温度	○	×50℃を超えると感度低下
水蒸気	○	×



# お見通し<sup>®</sup>



NIP-ⅢD 標準仕様		
機	長	1000mm
ベ	ル	
ト	幅	250mm
通	過	
高	さ	70mm
セ	ン	
サ	ー	磁界型
検	査	
領	域	230mm
搬	送	
面	高	800mm
有	効	
搬	送	20~40m/m
速	度	
表	示	
部		タッチパネル
シ	グ	
ナ	ル	赤色
搬	送	
荷	重	1Kg/機
電	源	AC100V 単相 50/60Hz
重	量	80Kg
外	装	ステンレス